

令和5年第6回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和5年6月28日(水)
午後2時55分～午後4時00分

2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室

3. 出席した委員
教 育 長 新 子 寿 一
教育長職務代理 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
委 員 西 村 弥 生 子
委 員 太 田 貴 之

4. 出席した職員
教 育 部 長 桐 藤 英 樹
福祉こども部長 森 口 秀 樹
教 育 監 中 平 好 美
スポーツ推進課 磯 部 賢 二
教育総務課長 栗 田 聖 子
指 導 課 長 小 室 吉 昭
こども施設課 石 橋 智 成
事務局教育総務課 塩 谷 行 由

5. 議事案件
議案第25号 柏原市教育委員会表彰審査委員会委員の委嘱・任命について
議案第26号 柏原市第3次子ども読書活動推進計画のホームページ公開について

6. 報告事項

7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：定刻より少し早いですが、お揃いでございますので、令和5年第6回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、近藤委員にお願いいたします。次に、事前に送付させていただいております会議録につきまして、ご意見等ございませんか。

委員全員：なし。

新子教育長：それでは、会議録は承認することにいたします。本日の議事に入ります。本日の議事案件は2件です。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは、議案の審議に入ります。議案第25号について、教育総務課栗田課長より説明をお願いします。

栗田課長：議案第25号柏原市教育委員会表彰審査委員会委員の委嘱・任命について説明させていただきます。柏原市教育委員会表彰審査委員会規則第2条第2項の規定により、次のとおり委嘱・任命するものです。委嘱期間につきましては柏原市教育委員会表彰審査委員会の開催日から令和5年11月3日までとなります。ご審議いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第25号柏原市教育委員会表彰審査委員会委員の委嘱・任命について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは、議案第25号柏原市教育委員会表彰審査委員会委員の委嘱・任命については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第26号について、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第26号柏原市第3次子ども読書活動推進計画のホームページ公開について、指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。平成13年、国は、読書の持つ価値を認識し、子どもの読書活動を支援するため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定しました。この法律では、自治体は子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにする推進計画を策定するよう努めなければならない、また、策定したときにはこれを公表しなければならないとしております。大阪府においてもこの法律に基づき、「大阪府子ども読書活動推進計画」が策定され、本市も平成17年に「柏原市読書活動推進計画」を策定しました。

このたび、「柏原市第2次子ども読書活動推進計画」の実施期間が、令和4年度で終了しましたことから、国、大阪府の動きや子どもの読書活動を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、「柏原市第3次読書活動推進計画」を策定し、柏原の子どもたちの読書活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

表紙をお開き下さい。章立てとしましては4章からなり、第1章では策定にあたり、国・府の動き、この計画の位置づけを述べております。表紙含め3枚目をお開き下さい。

第2章では、前の第2次計画の成果と課題、現在の状況、今後の取り組みに向けて、

全国学力・学習状況調査の結果と共に述べております。前計画の達成状況を見ますと、1つめの成果指標である「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか。」に対しては、令和4年度、本市小学校の「まったくしない」児童の割合は30.2%でした。これは目標値であった15.0%を大きく下回り、平成29年度の状況からも、2.1%下回っています。また、中学校の「まったくしない」生徒の割合は40.0%でした。こちらも目標値であった30.0%を大きく下回り、平成29年度の状況からは、5.5%下回っています。全国においても、平成29年度から令和4年度にかけての、普段、学校の授業時間以外に読書をまったくしない児童生徒の割合は増加しております。全国でも同様に増加傾向にあり、国の第4次基本計画の中では、スマートフォンの普及等による子どもの読書環境への可能性が示唆されており、今後、分析が必要とも述べられております。柏原市においても、同様の課題が見られています。今後の取り組みに向けて、資料としてスマートフォンの使用状況について示し、子どもの読書環境にどのような影響を与えているのか実態把握を行うとともに、読書習慣の形成に向け、環境整備に取り組んでいく必要があると考えております。

第3章から、基本方針、計画期間、成果指標となっており、成果指標につきましては、少しでも本を読む子どもを増やすこと、読書が好きな子どもを増やすことを目指したいという方針から、前計画同様、全国学力・学習状況調査質問紙の「学校授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか。」に対して、「まったくしない」の割合と、「読書は好きですか」の「好き・どちらかと言えば好き」の肯定的回答の割合を上げております。1日当たりの読書を「まったくしない」の割合の目標は、前回の小学校15%、中学校の30%から、小学校25%、中学校35%と下げています。これは、先ほどご説明いたしましたように、全国的な傾向を踏まえ、まずは全国を目指すという形で、今回設定しております。「読書が好きですか」については、前回と同じ目標値にしております。

第4章は、具体的な取り組みとして、「1. 学校園における子どもの読書活動の推進」「2. 家庭における子どもの読書活動の推進」「3. 地域における子どもの読書活動の推進」「4. 柏原市立図書館における子どもの読書活動の推進」の4本柱としております。「1. 学校園における子どもの読書活動の推進」では、今回、こども施設課と連携し、就学前施設と小・中学校における取り組みに分けました。「2. 家庭における子どもの読書活動の推進」では、家庭での主な取り組みに、社会状況を考え、「⑥のゲームやスマートフォン等の使用時間を見直し、読書の機会を広げます。」という文言を追加しました。「3. 地域における子どもの読書活動の推進」には、社会教育課の事業である、放課後子ども教室の活用を新たな取り組みとしてあげております。「4. 柏原市立図書館における子どもの読書活動の推進」では、市立図書館と連携し、昨年度導入されました電子図書館の活用を入れております。

読書をとおして豊かな感性を磨き、更なる知的探求心を育てていくには、家庭・学校園・地域・図書館等が連携した取り組みが必要であり、発達段階や生活の場に応じた読書活動の充実に向けて、子どもが自ら楽しみながら読書に親しむことができる環境づく

りに取り組みたいと考えております。説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

近藤委員：柏原市では本屋さんが閉まってしまい、実物の本が周りにたくさんある環境は図書館や学校の図書室ぐらいになってしまい、貴重なものになってしまっています。学校によって違うと思いますが、図書室の開放の時間が意外と少なくてなかなか行くことができないという話を子どもから聞いています。できるだけ開放時間や開放日を作ってもらって、本に親しむ時間や機会を増やしてもらえたらと思います。

太田委員：読書が好きな子どもの割合が全国的には下がっていることに対して、柏原市は向上しているが、本を全く読まない子どもは増えていますね。このことについてはどういう分析をされていますか。また、近藤委員も仰いましたが、図書館の司書、特に小学校の司書が今後キーになるのかなと思っています。小学校で保護者から聞いた話ですが、読み聞かせをしていただいていた子どもがすごく喜んでいるとの話を知りました。でも、年度が変わるとなくなってしまって残念だという話でした。継続的な市としての方針や、効果のある取り組みを発信してもらえたらと思います。また、ビブリオバトルと書いてありますが、中学校ではやっているところを見たことがありませんが、小学校でやっているのですか。

小室課長：ビブリオバトルは小学校で参加している学校があると聞いています。中学校では参加していませんが、司書はやりたいなという思いを持ってくれているようです。読書が好きな子どもが増えていることについては、司書の影響がかなり大きいと思います。私は中学校の教員でしたが、司書が入ったことにより、図書室の環境は大きく変わりました。ポップを作って子どもたちが親しみやすいように工夫してくれたことにより、図書室を訪れる子どもが劇的に増え、昼休みは規制をかけた状況もありました。太田委員が仰るとおり、司書はやはりキーなのかなと思います。しかしながら、家に帰ってから本を読むかというところ、そうではない。設問が「学校授業時間以外に」となっておりますので、設問を家庭ではどうかと捉えてしまう子どもが多かったのかなと分析しております。

田中委員：制度上で司書教諭を置かなくてはならないとされてから柏原市では司書教諭を配置していたと思いますが、今お話しいただいた司書は司書教諭のことですか。

小室課長：司書教諭ではなく、学校司書・図書館司書のことです。司書教諭は図書委員の担当になっていることが多いです。学校司書は1日中図書室におり、様々な取り組みを行っているところです。

田中委員：今回の調査では電子媒体の書籍も読書の対象になっていますか。

中平教育監：国の調査では、電子図書も読書の対象となっています。学校生活では朝読書があったり、学校司書も1日中いるので子どもたちが休み時間に図書室へ行ったりできていますが、家庭で読書をしているかというところ、しない子どもが多いという状況です。

太田委員：「小中学校における主な取り組み」の中で施設・設備の改善を図るとありますが、教育委員会として具体的に学校図書館をこうしていこうというような考えはありますか。

また、先ほどもありましたように、家庭での取り組みが大事だと思いますし、「家庭での主な取り組み」の中で項目を挙げていただいておりますが、具体的にどのように家庭へのアプローチを考えておられますか。

小室課長：施設・設備の改善については、全校に司書を配置できたことから、司書の方で環境整備を進めていってもらっていると認識しております。学校によって差はありますが、定期的に司書間で情報交換会をしておりますことから、とても見やすく、本を手に取りやすい図書空間の環境整備を進めていってもらっているところです。

家庭へのアプローチについては、校長だよりで各家庭に対して読書活動の状況等をお伝えし啓発してもらっているところです。市としての家庭への具体的な啓発方法については現在模索中であります。

中平教育監：就学前からの読書習慣が重要であると認識しておりますことから、今回就学前施設につきまして小中学校と分けて記載し、保護者に対する読書活動を行うことを示しております。担当課とも連携しながら、この部分に力を入れていきたいと考えております。

西村委員：スマートフォンの普及等は読書率低下の1つの要因かもしれませんが、ゲームは今までもやっていたし、子どもたちは習い事等でも忙しく、家に帰ってきたら疲れ果てている状況もあるかなど。ゲーム・スマートフォンばかりを悪者にしなくてもよいのではないかと思います。

それぞれの使い方を考えていく必要はありますが、読書の習慣化のためには就学前と小学校が大事だと思います。以前、幼稚園を見に行かせてもらった時に、図書環境があまりに貧弱で、園長先生が本を買って欲しいと仰っておられました。その後、予算をつけてもらったと喜んでおられたこともありました。認定こども園になって状況は改善されているのか気になります。

子どもたちは楽しいと思ったことを選ぶので、ゲームも楽しいけど本も楽しいというように持っていけたらなと思います。ゲームがきっかけで本が好きになることもありますし。

また、放課後子ども教室や学童に言っている子どもも多いので、そこでの読書環境についても気になるところです。なかなか教育サイドから目が届かないところですし、そのあたりでも本を充実させてもらえると、夏休み中等は暇な時間も多いため、本を読む良い機会になりますね。そのタイミングで司書さんに現場へ行ってもらうのも効果的だと思います。

小室課長：ありがとうございます。担当部署にもお伝えします。

新子教育長：他にご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第26号柏原市第3次子ども読書活動推進計画のホームページ公開について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは、議案第26号柏原市第3次子ども読書活動推進計画のホームペー

ジ公開については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。

(指導課より「不登校・いじめの状況について」、こども施設課より「幼稚園園児募集について」、スポーツ推進課より「シティキャンパスマラソンについて」「サンヒルスポーツセンター屋外プールについて」それぞれ報告)

以上で第6回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員